

海上の森自然観察会 テーマ 昆虫の越冬を観察しよう

日時 2014年2月15日(土) 10:00～14:00 天気 雨後曇り

参加者 一般: 0名(子ども0) 指導員: 3名

2週続けて週末は雪に祟られました。夜積もった雪が残っていますが家を出る時は雨で、こんな天気では参加者がいるかと心配でした。土日はにぎわう海上の森の駐車場も、着いてみると参加者の車が2台と昨夜から置かれていて屋根やフロントガラスに雪が積もった軽自動車2台という閑散とした状況でした。電車で参加した1名を加え、海上の里のサテライトに向かって3名で歩き始めました。

テーマが昆虫の越冬ということで、道端の朽ち木の下や中をのぞいてみました。キマワリやカミキリムシその他の甲虫の幼虫がいました。「火の用心」の標識と木杭の間には寒さを避けてクサギカメムシとヨツボシクサカゲロウが身を潜めていました。クサカゲロウの仲間が成虫で越冬することを初めて知りました。また、サテライトでは壁にフユシヤクsp(クロバネフユシヤクに近い)が止まっており、マキの木の中にはゴミムシの仲間が見られました。そのほか、木の枝にオオカマキリの卵のうが、杭にチョウセンカマキリの卵のうが見られました。



(クサギカメムシ)

サテライトでの昼食時に、今季初めて海上の森でツグミの姿を確認できました。例年は11月頃から普通に見られるはずなのですが、今季は少し様子が違っているようです。その後、積雪後誰も歩いていない道を大正池まで行って、帰途につきました。



(ヨツボシクサカゲロウ)

雪の積もった森を歩くと、普段とは違った面が見られます。森の中の木は雪の重さに耐えきれず幹や枝が折れたり、根元から倒れたりしたものが何本もあり、雪に弱いことがうかがわれました。イノシシなどが多くいるはずの動物の足跡が雪の上に見られなかったことも意外でした。また、海上の森では普段は散策をしている何人かとすれ違うのですが、この日、車は2台通りましたが、それ以外には誰とも出会いませんでした。これも初めての体験でした。(報告: 齋竹善行)



(フユシヤクの仲間)

【その他見られたもの】

鳥: モズ、ホオジロ、ジョウビタキ、ヒヨドリ、メジロ、エナガ、ヤマガラ、コゲラ、アオジ、シジュウカラ、ミソサザイ、カケス、シロハラ、カワセミ、ハシブトガラス、イカル

植物: (花) ホトケノザ、オオイヌノフグリ、アセビ、マンサク、(蕾) ヤマウグイスカグラ